



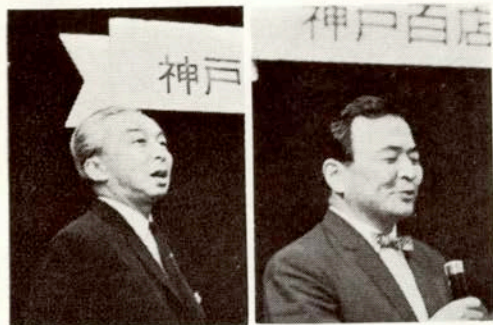
清水安子舞踊団によるスペイン舞踊



ハワイアンで生ビールを飲む和気あいの会場風景

神戸百店会結成披露パーティー

月刊 神戸つ子2周年記念



スピーチをされる岡崎忠氏(左) 四方田経済局長(右)

神戸百店会は、「神戸つ子」が創刊2周年を記念して提唱して結成された。神戸を代表する銘店の集いである。この神戸百店会を中心に、ユニークな専門店として、神戸カラーを創り出し、「世界の神戸」として海外にも大いに宣伝し神戸を国際的な文化商業都市にするため町づくりに協力しようというものです。

この神戸百店の集いの結成を記念して、披露パーティーが去る6月28日、午後5時30分から松下電器産業K・K5階大ホールで盛大に開催されました。

当日は、最初に来賓代表の岡崎神戸銀行頭取、四方田神戸市経済局長、直木神港倉庫社長、奈須NHK神戸支局長、木下兵庫新聞社長、広瀬勝代県連婦人会長のスピーチに始まり、神戸百店会幹事、風月堂吉川社長が挨拶のあと、多彩なスケジュールに移り、甲南大学のハワイアンバンドが演奏するうちに、神戸百店会から当日出席の皆様に記念のお土産がラッパカードで贈られ、プログラムは進んで特別出演の清水安子舞踊団が情熱的な、フラメンコ舞踊を披露いよいよ会最高潮となり、ビール係は、持ち運びに大変でした。

和気あいの会場には、古林神大教授、作家・白川渥、陳舜臣画家・中西勝、松岡寛一、評論家・赤根和生・吉沢独陽、高橋日経支局長、ラジオ関西西松井放送部長、神戸新聞、松井編集局長、竹田論説委員、村尾神戸商工会議所副会頭、甲南汽船田中社長、甲斐勝郎・多木衛三氏など各界の名士約200人の方々がご出席くださり、めでたく、結成披露のパーティーを終りました。

ホケッツトジャーナル



故 仲郷三郎氏の歌碑を建てる運動が始まる

神戸文化に数えきれない程の功績を残し、いまもその人柄を懐しむ人が多い、作家故仲郷三郎氏の歌碑を建設しようという運動が起って注目を浴びている。

この計画は藤原美幸氏

(兵庫県歌人クラブ) が世話人となって進められているが、この計画の発端は、故人が、神戸をこよなく愛しその文化に尽した人であるにもかかわらず、亡くなられてからは、故郷の横浜の墓地に葬られて、神戸にはその遺愛を偲ぶものも残っていないので、友人有志で歌碑を建設することになったという。歌碑建設の候補地としては、故人が住まわれていた、村雨堂の附近、難宮附近、海浜公園などが挙げられているが、いづれにしても、風光明媚な須磨を愛した故人の思い

をこの歌碑に託したいと云う意向である。

女流作家として活躍している、中里恒子氏の実兄でもある。

故人は往年、神戸新聞にスリラー小説などを連載したり、近年は、歌人評論家として活躍した文壇の長老であった。

生きものづいた

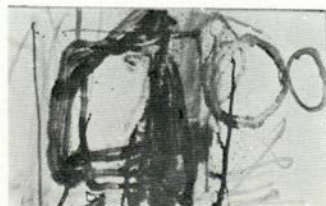
商工会議所

さきにアメリカから「ミミズ」の輸入引合を受けてびっくりした神戸商工会議所、こんどは「生きたリス」三千匹の輸出引合に二度びっくり。

相手先は韓国ソウルの豊元産業という会社だが、さきの「ミミズ」輸出が一億十ドルという大量のうえ、千四百匹という安値のため、商談が難航している矢先だけに、会議所貿易部もいささかウンザリ顔。それでも担当者「こん

日本の伝統をふまえた国際的抽象作家、津高和一の個展ひらく

「2度目の外遊後初の近作展」と題して、津高和一氏の個展が、7月18日から7月24日までの一週間にわたって、元町画廊(若木屋)で開催されることになり、いま一番の人気作家だけに早くも、



話題をあつめている。この作品展の開催について元町画廊の主人、佐藤

どのリスは輸出じやなく、輸入するんだからミミズみたいに集める心配はいりませんよ。まあミミズで苦労させられましたので、こんどはうまくいくと思います」とこのところ「生きものづいた」商談に汗を流している。

神戸の新しい名所

港湾博物館

神戸港開港90周年を記念して作られた、日本ではじ

公彦氏は、「雨つづきで感覚が湿ってしまつて、なにか、ピリツと自分の神経に触れるような催をやりたいと思つていた矢先、津高和一先生の新作を拝見して、カラットした。日本的な感じがとりもどしたようです。

いい力作ぞろいの作品展ですから、ぜひ楽しんでいただきたいと思います」と張切つて話されています。

1956年、世界今日の美術展出品、日本現在美術6人の巡回展(アメリカ)出品、1957年現代美術10年の傑作展出品(主催朝日新聞)1961年日本現代美術10人のヨーロッパ巡回展出品、1963年ヨーロッパより帰国、日本国際美術展出品。

めての、港湾博物館は、この4月に、神戸国際港湾博物館(中突堤)として開館され学生団体、観光客、一般市民などの入場者で、にぎわっている。

この博物館は、来年完成される、ニュー・ポート・タワーと隣り合わせになり、ポート・タワーと共に、神戸の新しい名所として、多くの人に港の知識を提供して行くこととなるだろう。展示場は、1、100㎡動

く模型が多く使はれてい

のが特色で、末米の神戸港の想像模型が、神戸港を中心にした円型模型で廻り、個々の場所を電気の点滅指示とテープで説明するといったもの、また、神戸港のあゆみを写真で解説した、目でみる、港のあゆみ、世界の港、日本の港の写真神戸の姉妹都市、シアトル、マルセーユの港全景の模型江戸時代の帆船から、アメリカの原子力商船「サバ」ナ号までの船体の模型などが人気を集めている。神戸っ子も港の知識に強くなるよう港湾博物館の洗礼を受けてもいいのではないだ

花時計

国民宿舎

松井 高 男



さきごろ、兵庫県下をひと回りのしたときのこと、各市の市庁舎がスマートな近代建築になっているのに、ず驚いた。これは全国的な傾向だが、ぐるりは古い家並みやワラビき屋根、そのなかで君臨している庁舎の

ろうか。

須磨浦山上に

「夢の噴水」近く誕生

なに事も型破りでなければ人目をひかぬ最近のご時世。観光客で賑わう須磨浦山上に、風変わりな大噴水が近く誕生する。

山陽電鉄が旗振山に建設を急いでいる「ウォータースコープ」という名の踊る噴水がそれ。

この噴水。水の高さが変わるだけでなく、自動装置で四〇秒ごとにクジャク型、ヒシ型、扇型など二十五種類の姿に早変わりするという変幻自在のマジック噴水。

規模のほうも、長さ二七米最大巾一・五米の長円形の噴水池から三三〇本のノズルを通して水が飛び出す東洋一のしろもの。

また夜は水中に約四百四十個の色電球を配し、踊る形にに応じて優雅な色調をにじませようと苦心が払われている。この工費、しめて二千五百万円というが、今月末の完成が今から待たれて

シヤれた味覚のメモ

「神戸百味」創刊される

「神戸百味のれん会」が結成されて10年目を迎え、順調な歩みを続けている。

国民宿舎では、朝夕流す耳いばかりのものであった。この市庁舎とともに、竜野新宮、篠山その他、あちらの山上、こちらの谷間と、これまたすつきりとした建てものが姿をみせ、あるいはコンクリートを打ち込んである最中であるのにぶつかった。きいてみると、いずれも「国民宿舎」という名の施設。ちよいとしたブームである。さる昭和三十一年から厚生年金の還元融資で、地方公共団体が競争で建設はじけたもの。むろんこれ自体、バカンスばやりの昨今、たいへん結構な施設ではある。ところでこれもその際ひろった県下T市の話だが、そこにある

「神戸の味を多くのの人に楽しめていた」と、甘辛の一流店35店で結成し、神戸の味を世界の味にまで育てて行きたい」と神戸百味のれん会会長の風月堂、吉川進社長は語っている。

こんど創刊された「神戸百味」は内容も豊富で神戸カラーがふんだんに盛り込まれている上に、さすがのれんの店ぞろい「青辰」「駒屋義知」の紹介が面白いまた味のふるさとは、

「近清漬物店」とか、「上方」に集まる最上品「菊水昆布」と楽しい「もののはじまり」では、酒の醸造のはじめは飯をかねて酒を作っていた、というものや、饅頭の渡来は600年前、京都建仁寺の龍山禪師の弟子だった、林淨因が日本に帰化して、奈良で得意の饅頭つくりを伝えたのが始まり、とか言った話題がシャ

れたレイアウトで盛込まれている。なかでも、今東光和尚をかこんで、風月堂、岡女堂、大井肉店、藤はらの各店主が出席しての「うまいもん説法」神戸っ子和尚の今東光も大いに神戸の味自慢をしているが愉快だとかく、神戸らしい、いい冊子である。年三回発行○発行 神戸百味のれん会 生田区中山手通7丁目6○編集 神戸新聞・マーケッティング 定価100円

センスあふれる

べっ甲専門店

元町一丁目

太田鼈甲店

TEL ③ 6195



贈って
喜ばれる
サノへの
お中元贈答品



元町2丁目 TEL ④ 4707~4708

YE AULD SHIRT SHOPPE



よろず御襯衣仕立處

神戸シャツ

神戸大丸前 TEL ③ 2168



西店・三宮柳筋 ③ 5778

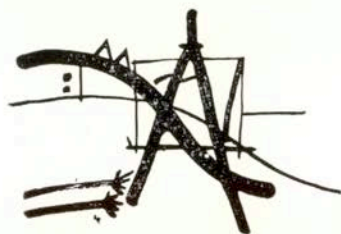
本店・甲南本通 ⑧ 0250

絹屋化粧品店



お中元
風味豊かなカステラ
長崎堂本店
本店7—4402元町4—4130
神戸新聞会館秀品店・阪急

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額 三宮・大丸北
トア・ロード
③1309・6234

新しいセンス、フランス調の
ヘヤースタイル

美容室

あきら

西野 明

御電話の御予約いたしております

三宮本通り TEL③4461・6458



ハイセンスの紳士服で
最高のオシャレを

元町4丁目

三恵洋服店

TEL ④7290

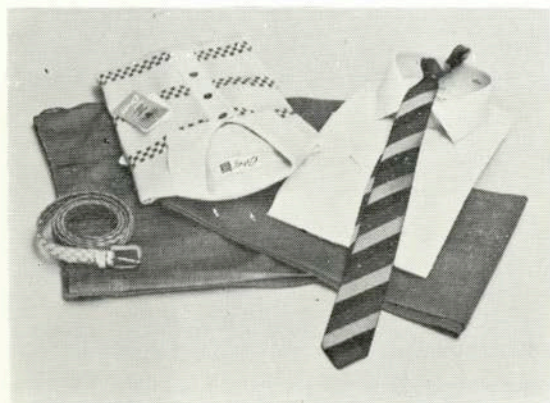


ハイセンスで
さわやかな
紳士のおしゃれ

男子洋品の店
神戸屋
元町2・TEL ③2589



高級紳士服専門店
神戸テーラー
オーダーメード・イメージ
オーダー・レディメード
生田区北長狭通2
(省線高架通50)③2817



MEN'S SHOP
セカイ
流行のトップをお知らせする
メンズショップ **千穂庵**
神戸元町四丁目 TEL ④6959

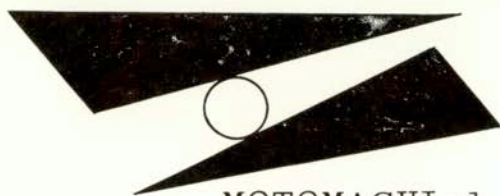


毛皮の店
ウエダ
元町2丁目③0686

元町の魅力

イクシマヤ

□すてきな
品々



MOTOMACHI-1

創作バッグ・アクセサリー

TEL(3) 2415

工芸品

《陶磁器・木彫品・ガラス器・額など》

TEL(3) 2416

楽しいバカンスに……

嬉しいおくりものに……

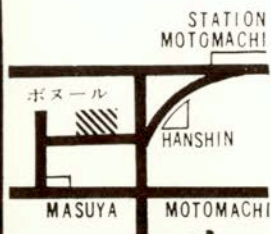
SUGIYA

ハンカチと下着の店
トア・ロード TEL③3436



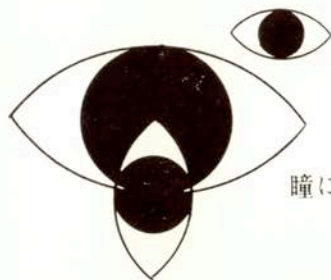
特殊 整肌美顔術

月曜日も営業いたしております



ボヌル 美容院

MOTOMACHI KOBE TEL(39) 1176-1348



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市中央区御幸通八丁目九ノ一(三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL(22)8161・8361

神戸夫人

武田 繁太郎
え・青木 一夫



毎年、お盆の季節を迎えるころになると、吉沢夫人は恒例のように、たいへん憂うつな思いに悩まされる。なぜなら、お中元の贈答に、あれこれと、つまらぬ神経を使わねばならぬからである。

「ああああ、ことしもまた、いやな季節がやってきたわ！」

まだ七月の声も聞かぬというのに、ふと思いだすたびに、かたちのいい夫人の唇の間から、あわい吐息ともつかぬ嘆声もれた。

この世に、もうこれ以上の悩みはない、とでもいいたげな、たいそう深刻な面持ちだったが、しかし、その程度の憂うつが最上の悩みであるほど、ほかにろくな悩みを持ちあわせてはいない、という事実、ご本人はいささかも気づいてはいなかった。

つまり、吉沢夫人は、客観的には、世にも幸福な女性の一人だったのである。

夫人の良人の吉沢慶太氏は、丁建設神戸支店の総務課

長だった。ことしの一月まで、東京本社の総務課の係長をしていたのを、年頭の異動で、神戸支店の課長に転出を命じられたのである。

氏はまだ三十五才の若さであった。この若さで、有力支店の課長転出は、けっして都落ちではなく、将来へ飛躍するための、栄転だといえた。じじつ、神戸支店の一ダースちかい課長のなかでも、筆頭課長である氏は最年少であった。

この年令差は、なかば必然的に、吉沢夫人の立場をも同様のものにした。二十八才の夫人は、社内どの課長夫人よりも、ずば抜けて若かった。課長夫人どころか、二十名ちかくいる総務課の下僚の奥さん方の大半は、夫人よりもみんな年上だったのである。

「お若くて、お美しくて、そのうえ、課長夫人で、吉沢の奥さまほど幸福な女は^{かた}いらっしやらないわね。あやかりたいもんだわ」

同僚や下僚の奥さん連の、羨望とも嫉妬ともつかぬ噂

を耳にすると、吉沢夫人は、なんとなくすぐッたいような、面映ゆいようなつまり、まんざらわるい気持ちかせぬでもなかった。

だが、それだけかえて、みんなのトゲを秘めたような注視をあびているのだと思うと、やがてちかづいてくるお盆のお中元なぞには、余計に神経を使わねばならずますます氣うつな思いにとざされるのだった。

わけでも、関西でお盆を迎えるのは、吉沢夫人にとっては、これがはじめてだった。関東と関西とは、風習や仕きたりがだいぶちがっていると聞かされている。時期も、こちらでは旧盆で、これはちかごろ、だいぶ東京なみに早くなる傾向にあるようだが、しかし風習や仕きたりそのもので、東京式に規格統一されつつあるわけでもないだろう。

郷にいれば郷に従えて、吉沢夫人もれっきとした神戸市民になったかぎりは、やはり、関西ふうのルールに従わねばならない。ところが、そのルールがまだ十分に呑みこめずにいるのだから、夫人はいよいよもって、中元の贈答には氣が重くなってしまうのである。

T建設は、ここ数年の建設ブームの波に乗って、業績もすばらしい延びを示していた。おかげで、ことし上半期のボーナスも、うるさい労組がふりあげたコブシのやり場にまごつくほどの、会社側の大奮発になった。

むろん、総務課長である吉沢氏のそれも、税込みながら、二十万円を軽くオーバーした。そのボーナス袋を、そっくりそのまま良人から手渡された吉沢夫人は、うれしにはうれしかったけれども、しかし、なんとなく手放しには喜びたくないような、複雑な表情をしてみせていた。

「なんだ？ 妙な顔をして。去年より五万円もふえているんだぜまだ不足かい？」

吉沢氏は、もっけ顔でたずねた。

「だって、ふえたぶんの何割かは、お中元で出てゆくん

ですものそれに、ことしは転勤でずいぶん出費がかさんだし、あたしの手元に残るぶんは、去年より少いわよ」
「そりあ、仕方がないさ。そこを、なんとか君の腕でうまくやるんだね」

「うまくやるッたって、あたし、手品師じゃないわよ。手品だって、タネがなくちゃ、できっこないでしょ！」
常にもなく、夫人は、ぶんぶん両の頬っぺたをふくらましていった。むろん、良人が憎くかったからではない。くだらない中元の贈答のために、虎の子のボーナスの幾割かが浪費されてゆくことがいまましくてならなかったのである。

去年まで、東京の本社にいたときは、まだしもましであつた。係長で、下僚からの付けとどけも、それなりに少なかったし、上役への贈答も、本社だけで済ますことができた。

しかし、ことしは、そうはいかない。課長になって部下もふえたし、それに、上役も、神戸の支店と東京の本社と、双方に贈らねばならぬのである。

夫人は、そつと胸算用してみた。だいたい、部下からのお中元は千円が相場である。夫人は、みんなに倍返ししようと、以前から心づもりしていた。かりにも、良人の吉沢がケチン坊だなど、社内から後ろ指をさされるような真似は、金輪際させたくなかつたし、だいいち、江戸ッ子である彼女自身の自尊心が許さなかつた。

だが、千円の倍返しだとすると、総務課全員二十名として、ざっと四万円である。それに、上役のほうは、良人の直系だけに限定しても、東京と神戸とで、ほぼ一ダース。一人最低三千円としても、約三万円、六千円。合算すると、七万五、六千円にもなってしまう。

「ああ！七万五千円。これだけあれば、あたしがほしいほしいと思つていた、白金台のオパールの指輪が買えるんだわッ！」夫人の唇の間から、またしても、嘆息ともつかぬ長い長い吐息がもれた。

中元の贈答なども、ほかの会社よりうるさいかもしれない」

「つまり、そんな社長をいただいている社員たちが不運だったというわけ？」

「いや、しかしね、程度の差はあっても、どここの会社だって、大なり小なり、やってるさ。だれもが虚礼だとわかっていながら、卒先して中止する勇気がないんだ。自分一人やめて、上役から睨まれたら損だからね。まア、その辺は、宮仕えはすさまじきものなりさ」

「男って、案外、だらしがいないものね」

「うむ。悲しいけど、現代の女性とストッキングほど強くないな。しかしね、ものは考えようだよ。いくらくらだらん中元の贈答でも、どうせ贈らねばならんものならくだらんくだらんと愚痴をこぼすよりも、できるだけ真心と愛情をこめて贈れば、いくらかでも気持ち救われるんじゃないかな」

吉沢氏は、日ごろの氏らしくもなく、わかったようなわからぬようなお説教を残して、やがて、出勤していった。

夫人は、なんとなくキツネにつままれたような思いで朝食の後始末をすると、ことし四つになる長男の手をひいて、近所の幼稚園までおくりとどけ、そのまま、熊内の社宅から市電で三の宮にかけ、開店したばかりのM百貨店をのぞきにいった。中元の贈答品を選ぶ下準備のためだった。

百貨店は、ちょうど中元大売出しの真最中だった。客の購買欲をそそるような、あらゆる中元用の商品が積みあげられた各階の売場を、夫人が、なに気なく、ベビーコーナーの一角まで来たときだった。

夫人はふと、さつき、長男をおくりとどけてきた、幼稚園の若い保育さんの顔を思いだしていた。

「そうだわ。あの先生にもお贈りしなくちゃ」

とさきに、夫人がそう思ったのは、ベビーコーナーの一隅に並べられた、ドライミルクの罐の群れを見出した



それというのも、すべては、愛する良人のためであった。良人の出世のためであった。が、それにしても、どこの会社も、こんな莫迦気た中元の贈答に、浮身をやつしているのだろうか？

「いやねー」

ボーマスの出た翌日、吉沢氏は、朝の食卓につきながら、夫人にこう語った。

「うちの社長はね、裸一貫から、一代で築きあげた立志伝中の人物でね、それだけ、いわば考え方が古風で、習慣や仕きたりには、人一倍うるさい人なのだ。だから、

神戸の催物ごあんない

- ▶ 河井喜代子ろうけつ染展
 <7月15日~24日・於ナシ ヨナルギヤ
 リ>
- ▶ デューク・エイセス・リサイタル
 <7月16日・后6・30~9時・入場料・A 5
 00円~C 300円・神戸国際会館>
- ▶ キャノン・ボール六重奏団
 <7月18日・后6~9時・入場料・S 180
 0円~E 400円・神戸新聞会館主催>
- ▶ 新美術家協会画家展
 <7月20日~28日・於市立美術館 月曜日休
 館>
- ▶ 泰山木の木の下で/劇団民芸・/作小山
 祐士・演出/宇野重吉・出演/南風洋子・垂
 水悟郎・北林谷栄・信欣三
 <7月20~22日・20・22日・后6・15~8・
 45分・21日・后1・30~4時・労音主催・入
 会金1000円・臨時会費3000円・神戸国際
 会館>
- ▶ 須磨水族館ステレオコンサート・クラッ
 シック・ミュージック・解説北村睦雄<7月
 21日>ポピュラー・ミュージック・解説/末広
 光男<8月4日>5・30~8時・於水族館ホ
 ール
- ▶ 東京芸大吹奏楽団演奏会指揮/山本正人
 <7月24~25日・后6・30~8・30分・入会
 金1000円・会費3400円・労音主催・神戸
 国際会館>
- ▶ 恭々しき娼婦/テアトロパン公演・出演
 /五宮芳子他
 <7月31日・一般1500円・学生・団体・1
 200円・后7時・於神戸新聞会館KCCホー
 ル>

剝那だった。

あの若い保母さんは、み月ほどまねに、かわいい女の
 赤ちゃんを出産していた。だが、夫婦共稼ぎで、それに
 保母さんはお乳がでなかったで、旦那さんの年寄った
 お母さんが、ミルクで赤ちゃんを育てているという。

保母さんの月給は、おそろしくやすかった。赤ちゃん
 は日増しに大きくなるし、おそらく若い母親は、赤ちゃん
 のミルク代に追われて、四苦八苦しているにちがいない。
 そのつらさは、夫人も、長男を生んだときの経験で
 いたいほどよく実感していた。

「そうだわ。あの先生には、ドライミルクの詰合せをお
 贈りしよう! 役にもたない贅沢品より、赤ちゃんに
 必要な実用品のほうが、どれだけ喜ばれるか知れやしない
 わ。それに、いくらでも先生の家計のたすけになれば
 あたしだって贈り甲斐があるというものだわ」

そう思うと、夫人の足はもうつかつかと女店員のいる
 売場のほうへ歩みよっていた。

「ちょっと。あのドライミルクの大きな罐のほう、五罐

ほど贈りものに包んでくださらない。いいえ。配達にし
 ないで」

夫人は、これから自分が持つて、保母さんの留守宅に
 とどけにいこうと思いついた。

「あもう。重うございますわよ」

「いいのよ」

夫人は、はりきってそう女店員にこたえながら、良人
 がけさ言い残していった「真心と愛情」という言葉を思
 いだしていた。

あのときは、なんだかキツネにつままれたような思い
 で、良人の言葉を聞いていた。だが、いまはじめて、そ
 の言葉のほんとうの意味が、身にしみてわかるように思
 えた。そして、七万何千円もの中元の出費をしいられな
 がらも、そこに、なにか一すじの救いを見出すことがで
 きたようにも思えた。ずっしりと重いミルクの罐をかか
 えて、M百貨店をでていく夫人の面には、ひさしぶりに
 晴れ晴れとして微笑が浮びあがっているようだった。

(この項終り)

ランチ タイム



神戸国際会館の南側、三倉第一ビルの一階のグリル「ルビアン」ビジネス街だけにこのランチ・タイムはラッシュ気味です。

ここで人気のあるのはサービスランチ、150円は小判皿に2品（魚と肉）サラダ、ライス付。魚は主にサワラ、ヒラメ、サーモン等が使われ、日によりピカタやフライに料理されます。

オリエンタル・ランチ、250円はシルバード皿にライス、カツレツ、卵とじ、スライスした玉葱の順で盛られルビアンで名付けた洋食風のカツ丼でなかなか美味しいものです。また、このサービス料理として、ビーフカツ、スーブ（ポータージュ・クリームスーブ）ライス（パン）付のスペシャルランチ、200円も好評です。ルビアンは洋食なら何でもOKの洋食専門の神戸らしい雰囲気のあるお店です。

元町3丁目、舶来喫煙具の店、マルエスの奥、カレー専門の店「エスクワイヤ」アメリカン風のカレーのおいしい店。ビーフカレーキンカレー、ポークカレーの三種類は150円。キャベツの上にカレーといった盛付もめずらしい。タマゴカレー、150円。スペシャルカレー、100円、と種類も多くカレーファンには嬉しい店です。

池本 将（会社員）

神戸百店会 だより



▼ユーハイム 創立50年を迎え記念事業としてユーハイムの社史編纂されることになりました。昔のユーハイムの歴史、資料をお持ちの方、御存知の方に協力を求めています。御連絡は神戸9564へ。

▼寿本舗 アイスクリーム100円お買上ごとにトランジスタ・ラジオが100台当たる抽選券を進呈他に記念賞としてボールペン、1000名様に用意されています。期間は9月30日迄、抽選日は10月15日におこなわれます。

▼末積製額ギヤラリー 7月16日・22日迄、有名洋画家作品展。7月24・29日迄、押絵福厚会の作品がそれぞれ展示されます。

▼セリザワ 創業60周年記念祝賀会が開かる。大丸前、センタ1街に紳士婦人の服飾専門店をもち神戸っ子に馴染の深いセリザワが、創業60周年を迎えました。セリザワでは、6月17日、役員社員こそって、取引関係者などを招き、祝典を日興証券5階ホールで、パーティーをパウリスタで開き、セリザワの盛業と発展を祝福しました。この記念事業としてセリザワでは「金一封と衣料品、百点」を毎日新聞厚生事業団に寄贈また、当日出席者の善意をと、出席者一同から善意銀行に、31、680円が手渡されました。

神戸百店会事務局

神戸市葺合区御幸通8丁目9ノ1
神戸国際会館1階 月刊神戸っ子
神戸百店会係

編集 後記



▼今月号は、甘辛特集ということで、全号、甘辛でいっぱいというのをやろうと目録んだものの、編集をすすめて行くうちに、いささか辛気味な濃厚になり、一同大いに反省しています。『酒仙』といはれるには、酒品第一也といはれ神戸っ子も品位を上げなければと思っているんですが……

▼若い女性層に一番人気があるのが、福富ドレスメーカー院長の季節のモードと矢野氏のくらしのアクセサリー。これらのファンは真っ先にこのページを開くのだそうです。

▼週刊読売の6月16日号にブレイ・タウンNO・1神戸と紹介され神戸っ子の百店会地図が引用されていました。とに角、神戸はパカンスNO・1、海に山に、夏は絶対神戸です。また、神戸は、ジョッピング・タウンとしてもNO・1、とにかく垢抜けのした、みなと神戸は、世界の神戸なんです。から、どんどんなお越し下さい。

（小泉）

月刊「神戸っ子」28号
発行／昭和38年7月10日
編集／発行人／小泉康夫
発行所・月刊「神戸っ子」編集室
神戸市葺合区御幸通8丁目9ノ1
国際会館1階 TEL 7037

定価 70円



直輸入羅紗専門店・紳士服・婦人服

シマキ洋服店

神戸店 生田神社東門筋

③ 7950・8055 ㊞ 2597

大阪店 北区梅ヶ枝町92

ヤノシゲビル1階 (362) 9515

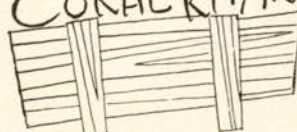
港の見えるレストラン

コラルキタノ

午前11時開店



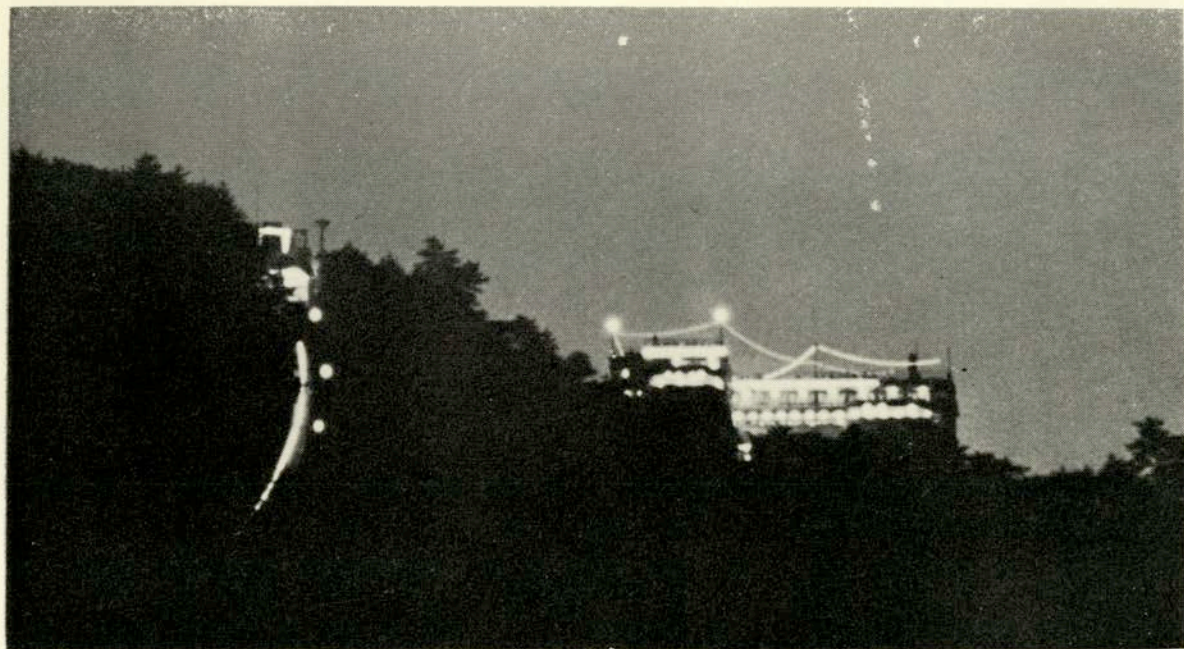
Restaurant
CORAL KITANO



お手頃なお値段と行届いたサービス

神戸 北野クラブ

TEL (23) 225 / 代表



HAWAIIAN & DANCE PARTY

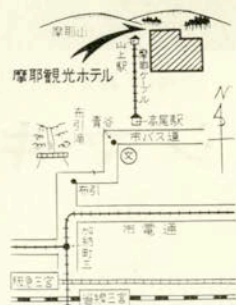
大橋節夫とハニーアイランダーズ

■ とき／8月3日午後5時より

■ ところ／摩耶観光ホテル大ホール

国立公園 まや観光ホテル

摩耶ケーブル山上駅前 TEL (85) 1231~3



神戸百店会

[illegible][illegible]



神戸百店会



神戸百店会と
ともに歩む



ぼく
ぴっきいの
貯金箱です！

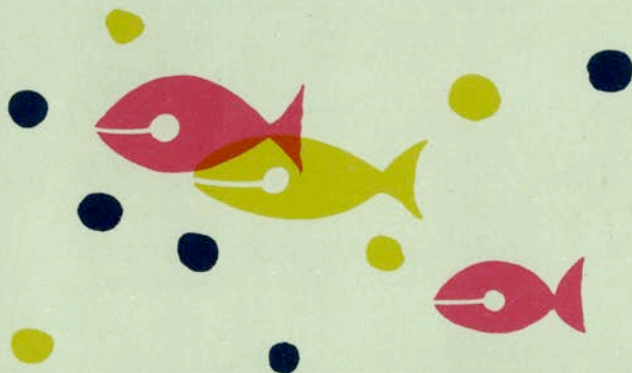
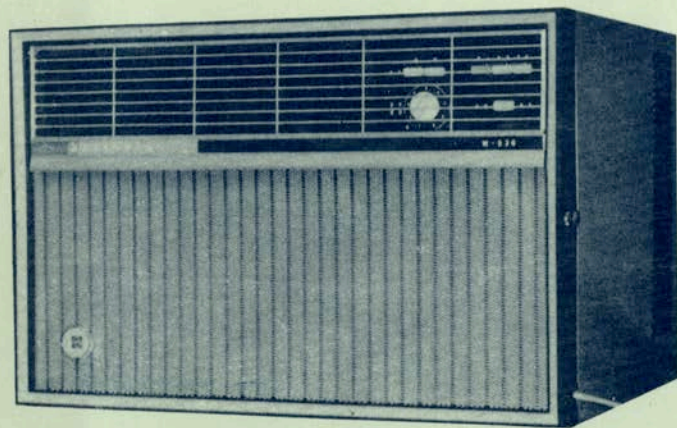
●すまいる預金

お子さまにむだ使いをやめて貯蓄なせる習性をしつけ
としてお教えになるのに一番ぴったりの預金です。
美しい絵本のような通帳で自由積立式の定期預金です。

 神戸銀行



避暑地があなたのそばにやってくる...



お部屋を
デラックスな雰囲気

**ナショナル
クーラー**

W-830	単相 100V
現金正価	167,000円
月賦定価	175,000円
和室	8~10畳
洋室	20~26m ² (6~8坪)
高さ	452mm 巾 660mm 奥行 550mm



松下電器